

令和 7 年 10 月 20 日

## 調 査・研 修 報 告 書（会派個人用）

会派名：清和会

報告者： 桜田亮太

実施場所：リファレンス西新宿大京ビル	実施日：令和 7 年 10 月 6 日
<p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</p> <p>まだまだ議会運営の取組みについて知識が十分でない。良い講座は講師にもよると思うが、経験からして、今回の川本講師は広島県庁勤務、元・廿日市市副市長なので県内事情にも詳しく、大変興味がある。ステップアップという意味で今回の基礎研修を活かしていきたい。</p>	
<p>■参考とすべき事項</p> <p>首長は、大きな柵に囚われている。議会が多様な意思と価値観をもつ代表機関として機能しなければ、地方はいつまでも住民本位の政治をすることができないとの話は、肝に銘じておく必要があった。他に、一般質問で 1 回聞いておしまいではなく、その後も時期をみて質問するのも必要なことだと改めて学んだ。</p> <p>また 6 月、9 月、12 月というように段階を踏んで追及していくやり方も、個人の熱意が執行者に伝わりやすいという点もあるようだ。だが、時期を考えずに言うと質問しても意味が無い場合もあるので、内容の整理は必要である。</p>	
<p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</p> <p>これから予算審査を迎えるが、（決算審査も同様だが）本市では例年だと 3 月初旬～中旬に上がってくるらしい。それから膨大な資料を確認するのも大変なので、議会運営委員会で協議し、意見がまとまれば議会として執行者に早期の開示要求などを行うことも必要かもしれない。</p>	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。